

「もったいない」は未来をつくる合言葉!



もったいない
MOTTAINAI

この言葉は、外国の言葉ではありません。

何百年も前に生まれた日本語で、漢字では「勿体無い」と書き、「もったいない」という言葉には、「まだ役に立つのに、むだにされて残念」という意味があります。

英語では「wasteful」という「むだ」という単語はありますが、「もったいない」という単語には「残念」という感情もふくまれているのです。

この日本特有の言葉で、日本人ならではの考え方に感動し、この言葉の意味がもつ考え方を、世界に広めようとした一人の外国人女性がいます。日本からはるか遠くの国ケニアで、環境を守る活動をしていたワンガリ・マータイさんで、環境にかかわることで初めてノーベル平和賞を受賞しています。彼女は、「もったいない」という考え方が地球環境にとってやさしい生活につながっていくと考え、世界中に「MOTTAINAI」という言葉を広める活動をしていきました。

地球の環境を良くしていくための「合言葉」として、日本の言葉が使われるのはとてもうれしいことですが、日本人のみんなは「もったいない」という言葉を意識して、毎日の生活をすごしていますか。

「おはよう」や「ありがとう」などは、生活している中で自然と声に出てくる言葉だと思います。「もったいない」という言葉も、自然と声に出る言葉、心の中でとなえることができるような言葉になると、未来の地球はとても良い環境になるでしょうね。



地球を救う作戦を考えてみよう! ⑥



生活の中のどんな場面で「もったいない」という言葉が出てくるかな? 「もったいない」と思うことがあったら、「もったいない」ことがなくなるようにしてみよう!

冬はみんなであたたまろう!



冬に欠かせない暖房は、使えば使うほど二酸化炭素を出してしまいます。暖かい空気は、上に行く特徴があるので、暖房をつけていても「足元が寒い」と感じたことがあります。

そんな時は、暖房の設定を強くするのではなく、靴下をはいたり、扇風機を天井にむけて回すなどといった工夫をすると、地球にやさしいよ!



かせひくなよ